

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-30649 (P2003-30649A)
 【公開日】平成 15 年 1 月 31 日 (2003.1.31)
 【出願番号】特願 2001-218089 (P2001-218089)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 T 7/00

G 0 6 T 1/00

G 0 6 T 7/60

【F I】

G 0 6 T 7/00 1 5 0

G 0 6 T 1/00 3 3 0 A

G 0 6 T 7/60 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 18 日 (2004.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像から対象物を検出する画像処理方法であって
 、

前記記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像を読み出し、モルフォロジーのずらし重ね
処理によって撮影画像の濃淡を強調するステップと、
 強調した撮影画像から特定の対象物が存在するエリアを切り出すステップと、
 切り出したエリアの対象物について予め定めた処理を行うステップと
 を備えることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 2】

切り出したエリアの対象物について対象物の数を計数する処理を行うステップをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理方法。

【請求項 3】

前記撮影画像は、背景画像中での対象物の面積が微細な衛星撮影画像または空撮画像であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理方法。

【請求項 4】

記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像から対象物を検出する画像処理装置であって
 、

前記記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像を読み出し、モルフォロジーのずらし重ね
処理によって撮影画像の濃淡を強調する手段と、
 強調した撮影画像から特定の対象物が存在するエリアを切り出す手段と、
 切り出したエリアの対象物について予め定めた処理を行う手段と
 を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 5】

切り出したエリアの対象物について対象物の数を計数する手段をさらに備えることを特徴とする請求項 4 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記撮影画像は、背景画像中での対象物の面積が微細な衛星撮影画像または空撮画像であることを特徴とする請求項４または５に記載の画像処理装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の画像処理方法は、記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像から対象物を検出する画像処理方法であって、前記記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像を読み出し、モルフォロジーのずらし重ね処理によって撮影画像の濃淡を強調するステップと、強調した撮影画像から特定の対象物が存在するエリアを切り出すステップと、切り出したエリアの対象物について予め定めた処理を行うステップとを備えることを特徴とする。

また、切り出したエリアの対象物について対象物の数を計数する処理を行うステップをさらに備えることを特徴とする。

また、前記撮影画像は、背景画像中での対象物の面積が微細な衛星撮影画像または空撮画像であることを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明に係る画像処理装置は、記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像から対象物を検出する画像処理装置であって、前記記憶手段に格納された対象物を含む撮影画像を読み出し、モルフォロジーのずらし重ね処理によって撮影画像の濃淡を強調する手段と、強調した撮影画像から特定の対象物が存在するエリアを切り出す手段と、切り出したエリアの対象物について予め定めた処理を行う手段と
を備えることを特徴とする。

また、切り出したエリアの対象物について対象物の数を計数する手段をさらに備えることを特徴とする。

また、前記撮影画像は、背景画像中での対象物の面積が微細な衛星撮影画像または空撮画像であることを特徴とする。